

2022(令和 4)年度 自己評価結果公表シート

学校法人扇町同胞学園
扇町同胞幼稚園

1. 本園の教育目標

キリスト教精神に基づき、それぞれの年齢にふさわしい集団と環境の保障に配慮し、「遊び」を中心とした子どもの主体的、能動的な活動を促し、家庭と協力しながら人格形成の基礎を培う

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

主体的に環境にかかわり、いきいきと遊ぶ子どもを育て、楽しく取り組める環境と保育内容を考える

- 栽培、エコ、リズム活動を考える
- 月案、週案、日案などについて考える
- 防災、防犯、健康、安全についての意識を高める
避難訓練を計画実施する

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教職員の資質、および指導力の向上を計るため日々振りかえりができるように月案、週案、日案について考慮する • 日々記録に残す工夫 • 教員の研修 • 栽培活動 • エコへの関心	<ul style="list-style-type: none">• 職員は各月の保育目標を考慮したうえで、月案、週案、日案を作成し、子どもたちの活動が自然な流れの中で展開され、楽しい活動が行なわれるように保育に取り組んでいる• 実際に実施した日々の保育を無理なく即座に記録に留め次に生かせるようにどのように時間を使って工夫すべきか考えて行動した• P（計画）D（行動）C（評価）A（対策）の研修について認識した後、どのようにすればよいか「子どもの発達段階」を改めて見直し、発達段階に沿ってひとり一人の子どもの成長を丁寧に導き、考えていく• 本園は大阪市内にあるため、園庭での自然や栽培の環境が限られている。その中で、地域活動に取り組んでいる City Farm OZ(大阪造園)から、当該ビル3階空中庭園でのエンドウマメやイモの苗植え等、栽培活動の依頼があったため、これを好機に今年度より園児と共に参加することができた。• 地球環境が危ぶまれる中、我々ひとり一人がどのような心がけが必要であるか、素話やクラスアワーの中で身近な事柄から考え、実際に行動に表し伝えている。今後も引き続き取り組んでいく。

<ul style="list-style-type: none"> リズム活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 年々子どもたちの体幹が弱くなり、体力の低下も感じる中、リズム遊びの中で積極的に取り入れていたが、今後も継続していく必要がある。 リズム表現では親しみやすい歌や曲を選ぶことで、遊びに慣れ親しみ、声掛けや合図に合わせ喜んで活動する姿が見られた。 体操教室の中でもルールやリズムのある遊び、スピードを楽しむ遊びを選び、少しの時間を利用して活動の機会を持つようにした。子どもたちが楽しみながら集中力や積極性を育むことができていた。引き続き養っていきたい。
<p>防災・防犯・健康安全について意識を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災訓練 防犯・安全教育 健康管理について <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭との連携と協力を密にする保護者会の開催 クラス懇談会 保育参加 	<p>北消防署、そねざき警察署にも来園していただき、避難訓練、防犯教室を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災時の状況や避難場所、避難の方法について教師間で共有し、それぞれに応じて子どもたちと避難訓練を実施 津波時の避難場所においては当園3階へ避難訓練を実施、そして2次避難として今後天満中学4階へ避難することも検討。又避難袋、備蓄品についても中身を確認していく 訓練で実際防災頭巾を全員装着し、防災頭巾の被りかたを知り、速やかに避難する練習を再度実施 警察署による防犯教室を計画し、交通安全と防犯について話を聞き、自ら身を守ることの大切さについて考えることができた 地震や台風を経験し、家庭やテレビなどで見聞きしたことを子どもたちと話し合い、訓練について怖がらず、慌てず、落ち着いて行動するよう折に触れて伝えることができた。保育室内で安全に待機する訓練を実施 長引くコロナ対策に引き続き、インフルエンザ及び感染性胃腸炎などの感染症予防についても消毒の徹底や、手洗いうがいの実行等、子どもたちにもわかりやすく伝え、話し合い、実施状況を職員とも共有しあう 幼稚園の教育目標を伝えるとともに、保育内容や行事の目的、意味について伝え、教育内容の理解をしていただいた

<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会幹事との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスの幹事（9名）と、月毎に幹事会を持つことができた。幼稚園と連携を深め、保護者全員が運動会、フェスタ、クリスマス、ベルマークの4チームに分かれそれぞれの行事の企画、協力をしていただいた。保護者間の親睦にも繋がっている
---	--

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・教職員全員が職員会において、年間の保育内容と行事を組み立て、保育のねらいを明確にして保育をすすめた ・研修会に積極的に参加し、保育の視点や保育技術を考察し職員間で共有、学びを深めた ・日々の保育の準備では、教師間で役割を分担し効果的で必要な作業について話し合い、子どもたちの興味、関心に寄り添い作業をすすめていった ・学期ごとの自己点検の実施により、課題が明確化し、教育要領の5領域のねらいに即し保育内容を考察し、保育技術の向上に努めた ・子どもの姿を観察し活動の姿を記録することから、教師の援助の方法を振り返り保育に生かすことができている

5. 今後取り組むべき課題

<p>安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・火災時や不審者侵入時のほか、地震等の災害時に教職員の取るべき行動について繰り返しシュミレーションして備えておく ・飲料水、食糧等の備蓄の場所等について確認する 備蓄用品の扱いやその他の必需品について順に揃えていく ・危険部分や場所について教職員全員で点検を行ない、確認をする ・園児の安全への意識を高める安全教育の内容について考える
<p>教職員の指導力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員全員で幼稚園の教育目標、年度の目標を共有し、行事や保育内容について教育要領や、「育ってほしい10の姿」に照らし具体化できるようにする 保育環境について保育室の改修、安全、清潔に努め点検を続けていく ・保育の取り組みや園児の成長、課題について丁寧に記録する 保育理論や保育技術を学び指導力や考察力の向上に努める

6. 学校施設関係者評価

<p>学校施設関係者委員会を開催し、平成30年度の評価項目について話し合い検討した。評価項目は、1、保育目標・方針 2、保育内容 3、保育健康環境 4、防犯・防災安全管理 5、教職員の研修 6、情報公開 7、組織運営の7項目を重点に評価、検討の意見交換がなされた。評価委員より本園の保育内容や環境整備について園児の成長発達に即し適切である旨、評価がなされた。防災頭巾を購入、着用し、地震、津波の避難訓練を全園児で実施</p>
--

し、防災への意識を持つことができた。また門扉の改修や防犯システムの導入・強化、園庭の土質改良の実施予定なども含め、園児の安全について継続的に取り組んでいる旨確認があり、評価がなされた。

今後も保護者や学校施設関係者への情報提供、社会のニーズや保護者対応について計画的、組織的に取り組んでいきたい

7. 財務状況

公認会計士外部監査により、経営上適正に運営されていると認められている